

みんゆう 随想

3度登ることはないだろう利尻岳と、北の果ての短い夏を精一杯生きている動物、植物そして人々の精魂に胸を打たれ、残された人生の仕上げの、価値ある設計を考えながら、利尻島に別れを告げました。

道の駅「おびら鯨番屋」で一夜。夜明けの天売国道を快適に飛ばし、深川ジャンクションで行きに通った道中道に合流。札幌、苫小牧を経由し、数年ぶりにお会いする友人の日向寺さん（新ひだか町静内）宅へ。海と牧場を車窓に浦河国道をナビ頼りに走り続けました。

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング代表取締役



お元氣なご夫婦と再会をな木工品を購入しました。ぶつかりました。ここで地果たし、日本行政書士連合（HP【だいいん村】検索）下足袋に履き替え、十数枚の荷物と役員として規制緩和や代理権の獲得、電子申請の実トルバスに滑り込み、眠い目と擦りながら車窓を眺め越えたい思い出に花が咲きながら、なにも見えません。断じたのが15回。約2時間、次の目的であるお風呂なり、同乗者の表情がはっを探索。新冠温泉レ・コーきりしたところから、徐々に冷たい、早く対岸に渡りたい」を繰り返し、やがて異様に聞こえた水音もせせらぎに変わり、心地の良い沢を登ると、うっすら幌尻山荘が見えてきました。へ縮んで来ても 気持ち最高 沢登ると、途中で二風谷アイヌと開き直ったら、闘志と勇気が湧いてきました。山荘に食料などを預け登道章をしてアイヌの歴史と 第1ゲートから登頂開山靴に履き替え、山モード文化、民族を学び工芸品を 始。約2時間半の林道歩きに切り替え午前9時、幌尻見学しマイ工房で作れそう で登山道は切れて額平川に 岳の山頂に挑みました。

山に魅せられて(14)

下の湯で4日間の疲れと汗 情報交換と山会話が弾み、百名山でトップクラスの難

このあと幌尻岳に登るた 関に挑戦する一抹の不安を 感じました。しかし、ここ 荘が見えてきました。へ縮んで来ても 気持ち最高 沢登ると、途中で二風谷アイヌと開き直ったら、闘志と勇気が湧いてきました。

文化博物館を発見。ここで 気が湧いてきました。山荘に食料などを預け登

道章をしてアイヌの歴史と 第1ゲートから登頂開山靴に履き替え、山モード文化、民族を学び工芸品を 始。約2時間半の林道歩きに切り替え午前9時、幌尻見学しマイ工房で作れそう で登山道は切れて額平川に 岳の山頂に挑みました。